

2019(令和元)年度 大阪教育大学池田地区附属学校研究発表会

附属池田小中高共同研究テーマ
**社会とつながり、
明日を切り拓く資質・能力の育成**



小中高・大学の教員が協働して各校種の研究課題に取り組んでいます。

小学校

社会とつながり、
明日を切り拓く
資質・能力の育成

中学校

「主体的・対話的で深い学び」を
実現する「学習課題(問い)」と
ATLスキルを軸にして

高校

国際バカロレア
教育研究の
成果をいかして

2019年 **11月23日** **土祝**

研究授業・講演・ワークショップ **参加費無料**

場所：大阪教育大学附属池田小学校・附属池田中学校・附属高等学校池田校舎

〒563-0026 池田市緑丘1-5-1 TEL(072)761-3591 FAX(072)761-3594

主催：大阪教育大学池田地区附属学校

後援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会阪神教育事務所

大阪市教育委員会・池田市教育委員会

時程

8:20～8:50	8:50～9:40	9:50～10:40	10:55～11:45	11:55～12:45	12:45～13:30	13:30～15:30
受付	公開授業Ⅰ	研究協議会	公開授業Ⅱ	研究協議会	昼食・休憩	講演・ワークショップ

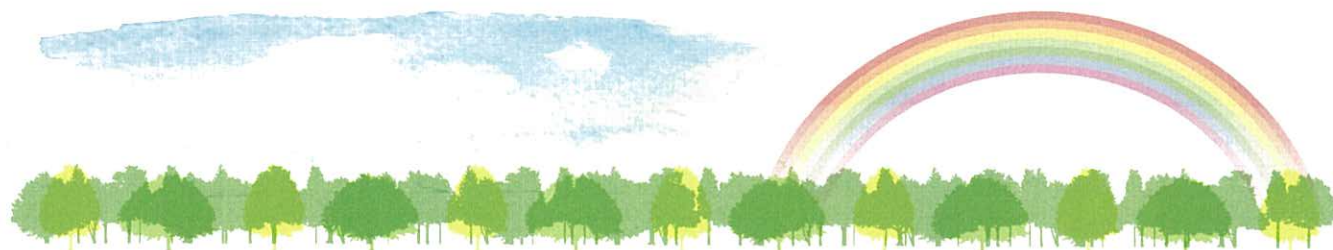
公開授業Ⅰ 8:50～9:40（研究協議会 9:50～10:40）

教科	学年	授業者	授業内容
社会	小学4年	佐野 陽平	資源となる水 SDGsを意識できるような単元構成を提案する。 本時では当たり前に使っている水について深く考える授業を行う。
体育	小学4年	廣町 智栄	マット運動 習得した技によって評価されがちなマット運動を、ジグソー学習で展開し、児童が進んで取り組むことができる授業を行う。
総合	小学5年	吉田 崇之	ビジネスオーナーの決断 オーナーとして、出店計画などをデータをもとに判断する。キャリア教育に繋がる内容をパッケージにして提案します。
数学	中学1年	塩田 和也	方程式「生活への利用」 方程式を使いながら二酸化炭素の排出量をテーマに環境問題を考えます。身近な生活に数学を活かすことで、数学の有用性を感じ取れる授業を目指します。
理科	中学2年	内田 修一	動物の生活と生物の進化 生きる仕組みを理解し、そのことを応用できる技術を開発できることは人にどのような影響を与えるのか考える。
英語	中学2年	岡本 健太郎	不定詞の利用 良質なディスコースを与え、探求的課題に取り組む実践。
音楽	中学1年	内兼久 秀美	身近な生活における情景を音楽で表現しよう 音や音楽によって、人は情景をどのように表現し、伝え合うのか、創作活動を通じて生徒がそれを実感できるような授業展開を目指す。
道徳	中学3年	小林 信之	『千年先のふるさとへ』（廣済堂あかつき中学校3年生） MYP候補校における、コミュニティプロジェクトと道徳の実践。
国語	高校2年	野見山 亜沙美 山田 典子	人物造形に反映された作者の意図を読み解く 一年次から培ってきた「古典を比較して読む力」を用いて、古典文学に組み込まれた作者の意図を、生徒自らが読み解いていく。
地歴	高校2年	森田 浩司	多面的・多角的に考察する地理総合 国際バカロレアDP「geography」の理念を研究し、さらにSDGsを意識した地理的な概念などを活用した見方・考え方を提案する。

公開授業Ⅱ

10:55～11:45（研究協議会11:55～12:45）

教科	学年	授業者	授業内容
国語	小学5年	島袋 光	『大造じいさんとガン』（椋 鳩十） 児童がこれまでの学習や生活で培ってきた言語感覚を生かし、場面の様子について想像したことを交流し、考えを広げ深める学習を目指す。
算数	小学2年	上窪 伸一	かけ算のきまり ～かけ算をつかって～ 九九を用いて解決に導く工夫を、ひとり学びから友達との学びへと広げて発見していくことで、共に探求していこうとする児童の姿を目指します。
理科	小学3年	工藤 健司	ものの重さ ものの体積に着目して、複数の種類の身の回りにあるものの重さの比較を行う活動を通して、問題解決能力の育成を目指します。授業改善の視点として「自覚化、道具化、マップ化」に着目した授業をデザインします。
道徳	小学3年	富山 実樹	『ぶどう畑のたからもの』（廣済堂あかつき小学校3年生） ICTを活用することで、勤労のよさやそれに伴う喜び等を多面的・多角的に捉えさせ、働くことの大切さについて考えさせる。
社会	中学3年	西邑 悠佑	政党と政治 政党の主張は若い世代には正確に伝わっておらず、これからの政策を前向きに検討する機会を奪っているように感じている生徒が多い。本授業ではグループごとに討論を行い、独自の政策を立て、それらを批判的思考スキルを用いて検討し、より良い政策を考える授業を提案する。
体育	中学1年	三好 達也	球技 ボッチャ ボッチャを通して、球技に必要な資質能力を育む。思考力・判断力・表現力等を可視化した授業展開を行う。
美術	中学2年	長木 功	立体での工夫と表現する力 1年次は生徒にとって、これまでになじみの少ない素材と思われる針金で立体を制作した。2年になって、さらに考え、工夫できる部分を含んだ授業を行う。
家庭	中学3年	大野 真貴	Aさん家族の課題を解決しよう（消費生活） 領域・人・実生活における実践とのつながりを重視した「金銭教育」の試み。
英語	高校2年	大賀 晃代	江戸時代の循環型社会に学ぶ 国際バカロレア10の学習者像の「考える人」に着目し、環境問題をテーマに授業を組み立てる。
総合	高校1年	梶木 尚美	SDGs探究学習 国際バカロレアDP(TOK、CAS)についての研究を踏まえ、分析力と省察力の育成に重点をおいた探究プロセスのモデルを提案する。





これからの小学校教員に 求められる授業力

講師：佐々木 靖（大阪教育大学大学院連合教職実践研究科教授）

子どもたちにとって「楽しく、学びのある授業」とは。そして、そのような授業を展開するために、教員に求められる授業力とは何なのか。過去、現在において小学校教員に求められた授業力、これからの小学校教員に求められる授業力を小学校現場で培ってきた経験から解説します。また、講師がこれまでに行ってきた魅力的な実践の基となる「授業の極意」を、ワークショップで学ぶことができます。



国際バカロレア (IB) と 新学習指導要領の関連

講師：赤羽 寿夫（東京学芸大学教職大学院教授）

国際バカロレア (IB) とはどのような学習で、どのような活動をしてどのような生徒が育つのか？と思っている方必見です。本校3年生による、コミュニティプロジェクト (CP) の報告発表を行い、IB教育を参観者にも体験的に学んでもらいます。その後、講師によるCPに対する講評やIBと新学習指導要領の関係を「IBと新学習指導要領の関連、これからの時代に求められる資質能力とは」という演題で講演します。



探究と概念理解

— 国際バカロレア (IB) の授業方法を体験する —

講師：林田 真紀子（名古屋インターナショナルスクール）

IBが探究型プログラムであることは、広く知られるようになった。では、実際にIB校の授業では、生徒はどのように「探究」しているのだろうか？また「概念」を意識して取り入れることは、生徒にどのような学びをもたらすのだろうか？幼稚園児から高校生まで、多様な子どもたちの学習を支えてきたベテランIB教員によるワークショップ。今、注目されている「探究」について議論し、参加者自身の取り組みを通して体験的に学ぶ。

講師 (講演・ワークショップ)

A 佐々木 靖 Yasushi Sasaki

大阪教育大学大学院
連合教職実践研究科教授
(附属池田小学校 校長)

大阪市立小学校教諭を経て、平成9年から現在まで大阪教育大学附属池田小学校で勤務。その間教諭、副校長、校長を歴任。附属池田小学校で起こった悲しい事件を経験し、安全教育の在り方を発信している。附属学校の使命である研究と実践を融合させるべく教員の授業力、学級経営力向上に取り組んできた。

B 赤羽 寿夫 Toshio Akahane

東京学芸大学
教職大学院教授

文部科学省の事業で、日本語を第2言語とする生徒への教科教育(JSL)カリキュラムに携わり、更にはIB教育実践校である附属国際中等教育学校を開校させた。開校前は主幹教諭として、認定校になってからは副校長として勤務。現在、教職大学院でIB教員養成に携わる中、グローバル人材を育てるのに必要なこれからの教師とカリキュラムを研究しながら、IB教育の国内普及にも尽力している。

C 林田 真紀子 Makiko Hayashida

名古屋
インターナショナルスクール

インターナショナルスクールに勤務し、IB教育(PYP、MYP、DP)に10年以上取り組んでいる。国際バカロレア機構のDPとMYPワークショップリーダーやDP試験官をつとめる。2018年度日本国際バカロレア教育学会研究発表「Conceptual Understanding (概念理解)とは～PYP/MYP/DPを通して～」等。「知の理論」の教材探しがすっかり日々の日課になっている。

協働研究者・指導助言者

大阪教育大学

学校教育講座 金光 靖樹 教授

学校教育講座 小林 将太 准教授

英語教育講座 吉田 晴世 教授

大阪成蹊大学教育学部 田中 譲 教授

岐阜大学教育学部音楽教育講座 松永 洋介 教授

学校教育講座 瀬戸口 昌也 教授

社会科教育講座 手取 義宏 教授

国語教育講座 住田 勝 教授

学校教育講座 八田 幸恵 准教授

数学教育講座 松本 明美 特任教授

科学教育センター 仲矢 史雄 教授

弘前大学教育学部家政教育講座 加賀 恵子 准教授

大阪府能勢町立能勢東中学校 和辻 保 元校長

ごあいさつ

大阪教育大学池田地区附属学校では、小学校・中学校・高等学校の教員が定期的に顔を合わせ、子ども達の12年間を見通した教育について議論を重ねています。

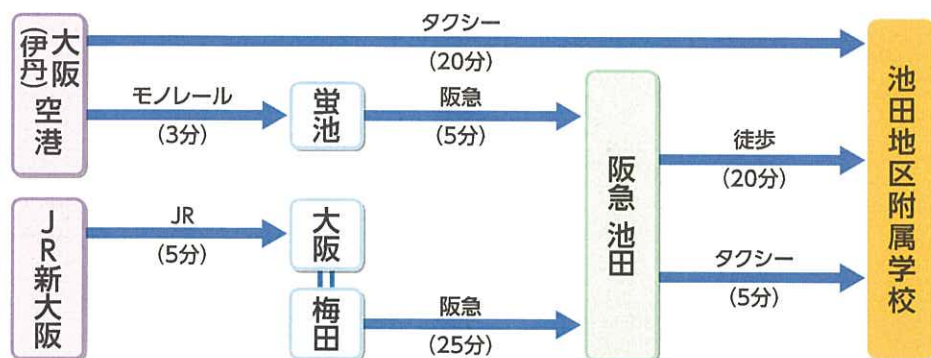
共同研究を始めて10年目の今年度は、「社会とつながり、明日を切り拓く資質・能力の育成」を池田地区附属学校の共通テーマとし、各校種が取り組むべき課題について校種を越えて研究を進めることで、新しい時代に必要となる資質・能力の育成をめざしています。

ご多用の折とは存じますが、多くの皆様のご参会を心よりお待ちしております。

令和元年9月

大阪教育大学池田地区附属学校共同研究協議会委員長
大阪教育大学附属池田小学校長 佐々木 靖

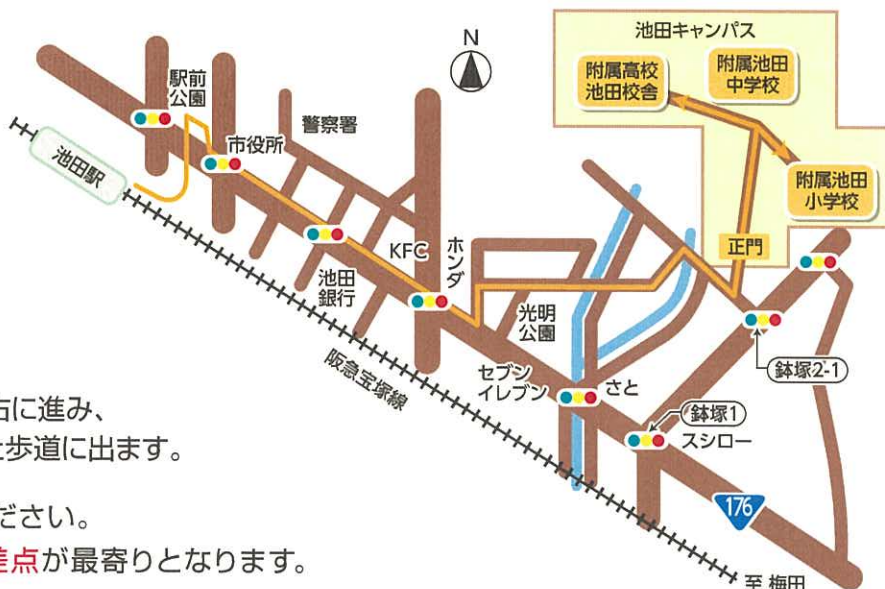
交通アクセス



阪急池田駅からの会場への案内図

阪急池田駅の2階改札を出て右に進み、陸橋を渡って駅前公園に面した歩道に出ます。

- 小中高へは正門からお入りください。
正門は池田市鉢塚2丁目1交差点が最寄りとなります。



その他

- 会場付近にはコンビニ・飲食店がほとんどございません。昼食は各自ご用意ください。
- ごみは各自お持ち帰りください。
- 校内は禁煙となっております。ご協力ください。
- 個人情報保護の点から児童・生徒を対象にした写真・ビデオ撮影につきましてはご遠慮ください。
- 車での来校はご遠慮ください。

参加申し込み

参加を希望される方は、大阪教育大学附属池田小学校ホームページ
(<http://www.ikedae-oku.ed.jp/>) からお申し込みください。

お申し込みは11月18日(月) 17時までをお願いします。

お申込みされた方には、後日、参加証を郵送いたします。

なおいただいた個人情報は、参加受付に関わる事務処理のみに使用します。

参加申し込みに関する問い合わせ

池田地区附属学校共同研究協議会事務局

☎072-761-3591 (大阪教育大学附属池田小学校内)